

資料編

成果指標・活動指標一覧

施策1 児童・生徒の心身の健全な発達の支援

戦略1 豊かな心の育成

成果指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
「足立区学力定着に関する総合調査」で小学生及び中学生が「自分にはよいところがあると思う」に肯定的な回答をした割合【教育指導課】	(小学生)72% (中学生)62%	(小学生)77% (中学生)70%
「全国学力・学習状況調査」で小学6年生及び中学3年生が「人の役に立つ人間になりたいと思う」に肯定的な回答をした割合【教育指導課】	(小学6年生) 93% (中学3年生) 92.3%	(小学6年生) 95% (中学3年生) 95%
「全国学力・学習状況調査」で小学6年生及び中学3年生が「学校のきまりを守っている」に肯定的な回答をした割合【教育指導課】	(小学6年生) 86.3% (中学3年生) 93.3%	(小学6年生) 90% (中学3年生) 95%

活動指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
教員対象の人権教育の研修会の参加小・中学校の割合【教育指導課】	100% 【延べ291名】	100% 【延べ306名】
道徳教育研修会の実施回数【教育指導課】	2回	3回
道徳授業地区公開講座実施の小・中学校の割合【教育指導課】	100%	100%
自然教室における各学校の体験活動数の合計 (野菜の収穫、日光彫、田植え・稲刈り、笹団子づくり、磯の生物観察、文化遺産見学、ハイキング等) 【学務課】	905 回	905 回

戦略2 健やかな体の育成	成果指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
	小児生活習慣病予防健診結果における管理不要率(中学2年生) 【学務課】	77%	85%
	むし歯のある就学前児童(年長児)の割合 【子ども政策課】 *低減目標	33.1%	28%
	むし歯のある児童・生徒の割合 【学務課】 *低減目標	(小学生)43% (中学生)33%	(小学生)36% (中学生)31%
	ごはん、みそ汁、目玉焼き程度の料理を自分で作ることができる子どもの割合(中学2年生) ※小学6年生は、ごはん、みそ汁を自分で作ることができる割合 【おいしい給食担当課】	(中学2年生) 75% (※小学6年生) 78%	(中学2年生) 100% (※小学6年生) 100%
	給食のときに自ら一番はじめに野菜を食べる割合 【おいしい給食担当課】	(小学6年生) 56% (中学2年生) 57%	(小学6年生) 100% (中学2年生) 100%
	「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」で「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好き」に肯定的な回答をした割合 【教育指導課】	(小学5年生) 男子93.3% 女子87.8% (中学2年生) 男子86.6% 女子77.8%	(小学5年生) 男子94% 女子88% (中学2年生) 男子89% 女子79%
	「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の体力調査のボール投げの平均値 【教育指導課】	(小学5年生) 男子20.6m 女子13m (中学2年生) 男子19.8m 女子11.9m	(小学5年生) 男子22.5m 女子14m (中学2年生) 男子21m 女子13m

戦略2 健康な体の育成	活動指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
	養護教諭対象の研修会参加の小・中学校の割合 【教育指導課】	77.9%	100%
	貧血・小児生活習慣病予防健診受診率(中2) 【学務課】	89.5%	93%
	年少児から給食後の歯みがき(毎日)に取り組む園の数 【子ども政策課】	132園	210園
	給食後の歯みがき(全学年・毎日)を実施する小・中学校の割合 【学務課】	(小学校)67% (中学校)11%	(小学校)100% (中学校)50%
	「ひと口目は野菜から」の取り組みを実施した就学前教育・保育施設数及び小・中学校数 【子ども施設指導・支援担当課】 【おいしい給食担当課】	(就学前) 106園/142園 (小・中学校) 97校	(就学前) 150園/201園 (小・中学校) 102校(全校)
	「給食メニューコンクール」応募作品数 【おいしい給食担当課】	7,072作品	7,500作品
	長期休み期間に「わが家のシェフになろう！」で子どもたちが実際調理した食数 【おいしい給食担当課】	7,373食	9,900食
	体力向上推進計画実施の小・中学校の割合 【教育指導課】	100%	100%
	オリンピック・パラリンピックに関連した取り組みを実施した小・中学校の割合 【教育指導課】	100%	100%
	「足立区小学生長なわ・短なわチャレンジ」の実施校の割合 【教育指導課】	95.6%	100%
	年齢別研修のうち、集合研修(運動)への参加職員数(保育士、幼稚園教諭) (令和2年度より実施) 目標値＝参加職員数(※研修定員数の7割程度を想定) 【就学前教育推進課】	-	350人 【定員500人】

施策2 確かな学力の定着に向けた就学前から義務教育期までの取り組み

戦略1 教員の授業力向上「わかる授業」「魅力ある授業」の実現

成果指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
「足立区学力定着に関する総合調査」で「学校の授業はわかる」に肯定的な回答をした割合 【学力定着推進課】	(小学生)89.3% (中学生)73.9%	(小学生)90% (中学生)80%
「全国学力・学習状況調査」における国の正答率との差【学力定着推進課】	(小学6年生) 国語A 0% 国語B +3.0% 算数A +2.9% 算数B +1.4% (中学3年生) 国語A -1.5% 国語B -1.1% 数学A -2.4% 数学B -2.7%	(小学6年生) 国語 +5% 算数 +3% (中学3年生) 国語 +2% 数学 +1%
「足立区学力定着に関する総合調査」で、「グループ活動やペア活動では、自分から積極的に発言したり、みんなで意見を出し合うことができたと思う」に肯定的な回答をした割合(令和元年度より実施) 【学力定着推進課】	-	(小学生)80% (中学生)70%

活動指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
「足立スタンダード」実践の小・中学校の割合 【教育指導課】	100%	100%
教科指導の対象となる教員が教科指導専門員から受けた指導の回数(教員一人あたり) 【学力定着推進課】	(小学校) 9.9回/人 (中学校) 17.6回/人	(小学校) 10回/人 (中学校) 20回/人
小学校外国語活動アドバイザーの配置(支援)時数 【学力定着推進課】	13,557時数	24,941時数
教員研修(1～4年次研修)の受講修了割合 【教育指導課】	84.2%	100%
先進自治体への教員派遣人数 【学力定着推進課】	12人	12人
教員用タブレット端末等を使用して授業を実施した教員の割合(令和元年度より実施)【教育政策課】	-	(小学校)80% (中学校)80%
児童・生徒用タブレット端末を使用して授業を実施した教員の割合(令和元年度より実施) 【教育政策課】	-	(小学校)80% (中学校)50%
プログラミング教育の実施回数(タブレット端末使用・教員の割合)(令和2年度より実施) 【教育政策課】	-	(小学校)80% (中学校)80%
小中連携による学力向上に係る研究・研修会の実施回数【学力定着推進課、小中連携教育担当課】	245回	245回

戦略2 個に応じた学習指導・学習機会の充実

成果指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
「足立区学力定着に関する総合調査」における小・中学校の区全体の通過率 【学力定着推進課】	(小学生) 国語 78.4% 算数 79.1% (中学生) 国語 63.1% 数学 59.4% 英語 52.4%	(小学生) 国語 80% 算数 80% (中学生) 国語 70% 数学 70% 英語 70%
数学チャレンジ講座、英語チャレンジ講座の事後テスト結果が事前テスト結果を上回った生徒の割合 【学力定着推進課】	(数学チャレンジ講座)65.6% (英語チャレンジ講座)83.5%	(数学チャレンジ講座)90% (英語チャレンジ講座)90%
足立はばたき塾を受講し、第一志望の高校に進学した生徒の割合 【学力定着推進課】	67.9%	80%

活動指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
そだち指導員の年間活動時間 【学力定着推進課】	64,908時間	68,880時間
MIM の指導回数 【学力定着推進課】	3,450回 /69校	3,350回 /67校
学習支援ボランティアの登録者数 【教育政策課】	463人 【活動件数 8,404回】	500人 【活動件数 9,000回】
学習支援員配置の小学校の割合 【教育指導課】	100%	100%
サマースクールを10日間以上実施した小学校の割合 【学力定着推進課】	97.1%	100%
英語チャレンジ講座実施延べ時間数 【学力定着推進課】	467時間	467時間
英語マスター講座実施延べ時間数 【学力定着推進課】	180時間	180時間
数学チャレンジ講座実施延べ時間数 【学力定着推進課】	583時間	583時間
中1夏季勉強合宿で、4泊5日の全行程をやり遂げた生徒の割合 【学力定着推進課】	100% 【参加者121人】	100% 【参加者100人】
足立はばたき塾の在籍率(全講座終了時) 【学力定着推進課】	81.6%	100%
居場所を兼ねた学習支援の年間登録数 【くらしとしごとの相談センター】	308人 【7箇所】	330人 【7箇所】
生活保護世帯の小・中学生のうち、塾代支援を利用して通塾している小学1年生～中学2年生の割合 【生活保護指導課】	22.6%	30%

戦略3 就学前教育の推進	成果指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
	基本的生活習慣が身についている小学1年生の割合【就学前教育推進課】	90.6%	90%
	指導検査で「文書指摘」または「口頭指導」となった項目が、次の実地調査等の際に改善されていた教育・保育施設の割合【子ども施設指導・支援担当課】	100%	100%
	活動指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
	幼児教育研修のうち、教育・保育力向上研修(集合)への参加職員数(保育士、幼稚園教諭等) (令和元年度より実施) 目標値＝参加職員数(※研修定員数の7割程度を想定) 【就学前教育推進課】	-	1,190人 【定員1,700人】
	実地調査等をした教育・保育施設の割合(実地調査等対象施設)【子ども施設指導・支援担当課】	96.5%	100%
	「足立区教育・保育の質ガイドライン」を活用した保育実践をしている割合 【子ども施設支援・指導担当課】	48.1%	85%
	幼保小連携ブロック会議におけるあだち幼保小接続期カリキュラムの活用割合【13ブロック】 (令和元年度より実施)【就学前教育推進課】	-	100%
	小学校との交流活動を実施した教育・保育施設の割合【就学前教育推進課】	86%	90%

施策3 不登校児など子どもの状況に応じた支援の充実

戦略1 不登校や発達支援等の課題を抱える子どもの心のケア・悩み相談

成果指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
個別のカウンセリングや心理・知能検査等を行う教育相談により、不登校等が解決または改善した割合【教育相談課】	82%	85%
学校内で支援を行うSCにより、不登校児童・生徒が解決または改善へとつながった割合【教育相談課】	72%	77%
家庭や生活環境も踏まえた支援を行うSSWにより、不登校等が解決または改善した割合【教育相談課】	34%	40%
校内委員会での協議に基づく指導により、不登校の状況が改善した児童・生徒の割合【教育相談課】	37%	45%

活動指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
教育相談の人数(実数)【教育相談課】	1,468人	1,500人
SCの相談延べ回数(区SC・都SC合計数)【教育相談課】	74,517回	75,000回
SSWによる相談人数(実数)【教育相談課】	363人	400人
SSWが関係機関と連携した回数【教育相談課】	304回	400回
校内委員会にSSWが参加している割合【教育相談課】	(小学校)29% (中学校)77%	(小学校)70% (中学校)100%
教育相談に係る研修会の受講者数【教育相談課】	150人	200人
教育相談研修の受講教員が、各学校において、研修内容を活用した割合 (令和2年度よりアンケート実施予定)【教育相談課】	-	100%
学校支援員の派遣により支援した学級数【学校支援員の数】【教育相談課】	20学級 【6人】	50学級 【12人】

戦略2 不登校の未然防止と学校復帰・社会的自立の支援

成果指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
不登校児童・生徒数(年間30日以上欠席者) 【教育相談課】＊低減目標	(小学生)239人 (中学生)697人	(小学生)220人 (中学生)660人
新規の不登校児童・生徒数 【教育相談課】＊低減目標	(小学生)110人 (中学生)316人	(小学生)90人 (中学生)240人
校内委員会での協議に基づく指導により、不登校の状況が改善した児童・生徒の割合(再掲) 【教育相談課】	37%	45%
登校サポーター派遣で別室登校支援をし、状況が改善した児童・生徒の割合【教育相談課】	68%	75%
チャレンジ学級で支援し、状況が改善した児童・生徒の割合【教育相談課】	70%	75%

活動指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
不登校児童・生徒に対して不登校対応マニュアルに基づき支援した割合(令和2年度より算定) 【教育相談課】	-	100%
SCの相談延べ回数(区SC・都SC合計数) (再掲)【教育相談課】	74,517回	75,000回
SSWによる相談人数(実数)(再掲) 【教育相談課】	363人	400人
校内委員会での協議に基づく児童・生徒への指導回数【教育相談課】＊低減目標	13,279回	12,500回
長期欠席児童・生徒状況表で情報のあがった人数【教育相談課】＊低減目標	1,622人	1,500人
小学校が小学6年生の長期欠席児童・生徒支援シート(共通シート)を作成し、進学先の中学校へ引き継ぎ指導を行った割合 (令和2年度より算定)【教育相談課】	-	100%
登校渋りや教室に入れない児童・生徒に対し、登校サポーターを派遣した回数【登校サポーターの人数】【教育相談課】	1,852回 【51人】	2,250回 【65人】
チャレンジ学級へつなげるため、不登校児童・生徒に対し働きかけを行った回数【正式通級となった人数】【教育相談課】	1,362回 【78人】	1,800回 【120人】
NPOと連携した学習・居場所支援の登録児童・生徒数【教育相談課】	10人	50人

戦略3 切れ目のない特別支援教育の推進

成果指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
就学相談が完結した割合 ＜小学校入学、小・中学校＞【支援管理課】	99%	100%
相談児童数のうち、関係機関と連携できた割合 ＜就学前＞【支援管理課】	90%	98%
発達支援児の行動上の課題が軽減又は現状維持 したと判定された児童の割合 ＜就学前＞【支援管理課】	89%	95%
特別支援教室での指導により困り感が改善(退室) した児童・生徒の割合【支援管理課】	5.8%	10%
ペアレント・メンター(発達障がい特性のある子の育児 経験がある保護者)による相談件数のうち、2回以上 相談にかかっているピーターの割合【支援管理課】	68%	75%
ユニバーサルデザインの視点を取り入れた指導を 実践している教員の割合【支援管理課】	-	100%

活動指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
「心理相談」「発達相談」「出張相談」の件数 【支援管理課】	2,226件	2,500件
「保護者向けミニ講座」の実施回数 (令和元年度新規事業)【支援管理課】	-	24回 【参加者140組】
「4歳の気づきのしくみ」の実施園の割合(対象園: 認可保育所・区立認定こども園)【支援管理課】	70%	90%
チューリップシート(就学支援シート)の提出率 【支援管理課】	67%	100%
発達支援委員会で特別支援を要すると判定された 3～5歳児のうち、「園生活支援シート(個別支援計 画)」を作成した割合 (令和2年度より算定)【支援管理課】	-	100%
就学移行プログラムの実施小学校数 【支援管理課】	3校	67校(全校)
就学支援委員会の実施回数【支援管理課】	30回	30回
特別支援学級(固定学級)の設置校数 【支援管理課】	29校	30校
特別支援教室(コミュニケーションの教室)の設置 校数【支援管理課】	81校	102校 (全校)
介助員の配置申請に基づき、介助員を配置した 小・中学校の割合【支援管理課】	93%	100%
ペアレント・メンターによる相談件数【支援管理課】	103件 【利用者52人】	120件 【利用者60人】
特別支援に係る研修会の実施回数【支援管理課】	23回	23回

戦略4 いじめの早期発見・早期対応

成果指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
いじめに関するアンケートで「相談できる人がいる」に肯定的な回答をした小・中学生の割合※2月実施【教育指導課】	(小学生) 99.3% (中学生) 98.6%	(小学生) 100% (中学生) 100%
小・中学校におけるいじめの解消率【教育指導課】	(小学生) 67.8% (中学生) 75.5%	(小学生) 75% (中学生) 80%
「全国学力・学習状況調査」で「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う」に肯定的な回答をした小・中学生の割合【教育指導課】	(小学6年生) 95.8% (中学3年生) 95.2%	(小学6年生) 100% (中学3年生) 100%

活動指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
いじめ相談(いじめ相談電話、ネット相談)受付件数【教育指導課】	35件	40件
足立区いじめ等問題対策委員会の実施回数【教育指導課】	3回	3回
教員対象の「いじめ・自殺予防に関する研修会」の実施回数【教育指導課】	4回	4回

施策4 快適に学べる教育施設の整備と運営の充実

戦略1 安全で環境に優しい施設整備

成果指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
令和2～6年度までの全体保全工事予定校20校のうち、全体保全工事が完了した学校の割合 【学校施設課】	-	100%
トイレ洋式化率 【学校施設課】	61%	80%
教室照明のLED化率 【学校施設課】	22.1%	52.9%

活動指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
各年の保全工事対象校のうち、工事予定工程が完了した割合 【学校施設課】	100%	100%
設備点検を実施した学校の割合 【学校施設課】	100%	100%
維持補修工事により安全を確保した学校の割合 【学校施設課】	100%	100%
体育館へのエアコン設置完了校の割合 【学校施設課】	1%	100%
トイレ改修対象校のうち、改修を完了した学校の割合 【学校施設課】	32.8% 【22校/67校】	100%
太陽光発電装置の導入校数 【学校施設課】	17校	24校

戦略2 適正規模・適正配置

成果指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
全小・中学校に占める「適正規模校」の割合 【学校適正配置担当課】	64.4%	70%

活動指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
統合地域協議会を隔月で開催した割合 【学校適正配置担当課】	100%	100%

戦略3
学校運営支援

成果指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
「足立区学力定着に関する総合調査」で「今住んでいる地域に貢献できるような大人になりたい」に肯定的な回答をした小・中学生の割合(令和元年度より実施)【学校支援課】	-	70%
教員の1年間の在校等時間の総時間から東京都条例等で定められた勤務時間の総時間を減じた時間が360時間以下である教員の割合(「足立区立学校における教員の働き方改革実施方針」に基づく)【教育指導課、学校支援課】	-	100%
小学生一人あたりの本の年間貸出数【教育政策課】	30冊	36冊
中学生の学校図書館の利用割合(1ヵ月の延べ利用者数÷生徒数)【教育政策課】	141%	170%

活動指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
開かれた学校づくり協議会主催・共催事業の実施回数【学校支援課】	2,601回	3,000回
開かれた学校づくり協議会型コミュニティ・スクールの設置校数【学校支援課】	10校	13校
学校経営計画のヒアリング実施の小・中学校の割合【学力定着推進課】	100%	100%
一斉退校日等を設定している小・中学校の割合(令和元年度より実施)【教育指導課】	-	100%
学校図書館支援員配置の小・中学校の割合【教育政策課】	100%	100%
学校図書館基本計画を策定し活用している小・中学校の割合(令和2年度より実施)【教育政策課】	-	100%
生活指導員配置の中学校の割合【教育指導課】	94%	100%

戦略 4 就学環境の整備

成果指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
児童・生徒が関係した交通事故の件数【学務課】 ＊低減目標	13件	0件
日本語適応指導の効果が見られた割合(日本語 適応指導講師の所見による)【教育指導課】	100%	100%
希望校に入学した児童・生徒の割合【学務課】	99.4%	99.8%
育英資金の利用者(完済・助成後)を対象にした、 育英資金の利用満足度を測るアンケートで肯定的 な回答をした割合(令和2年度より実施) 【学務課】	-	100%

活動指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
セーフティ教室実施の小・中学校の割合 【教育指導課】	100%	100%
交通安全教室実施の小学校の割合 【教育指導課】	100%	100%
通学路合同点検(定期点検)の実施回数 【学務課】	17回	17回
複数台のAED設置校の割合【学校支援課】	100%	100%
「日本語適応指導講師」及び「日本語通級指導学 級(令和2年度モデル実施)」を利用している児童・ 生徒数【教育指導課】	154 名	215 名
区立小学校に就学申請する外国人児童の割合 【学務課】	80.1%	82%
夜間中学の学級数【学務課】	6学級	6学級
小・中学校の新1年生が希望選択票を提出した割 合【学務課】	97.6%	98.5%
子育てのための施設等利用給付費受給率(幼稚園) (令和元年10月開始)【子ども政策課】	-	100%
育英資金制度の周知件数(「中学・高校・大学への 案内」「個別相談会」「イベント会場でのパンフレット 配布」等の合計件数)【学務課】	171件	220件

施策5 子ども・若者が社会と関わる力を育むための成長支援

戦略1 多様な体験活動の提供とその充実

成果指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
大学生体験教室・ものづくり体験教室に参加してアンケートに回答した小・中学生のうち、「今回の体験をとおして、これからも新しいことを知ったりチャレンジしたいと思った」と回答した割合 (令和2年度より実施)【青少年課】	-	90%
「足立区学力定着に関する総合調査」で小学5年生が「地域の活動に参加している」に肯定的な回答をした割合【青少年課】	56.3%	61%
「全国学力・学習状況調査」で小学6年生及び中学3年生が「人の役に立つ人間になりたい」に肯定的な回答をした割合(※施策1の再掲) 【青少年課】	(小学6年生) 93% (中学3年生) 92.3%	(小学6年生) 95% (中学3年生) 95%
活動指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
自然教室における各学校の体験活動数の合計 (野菜の収穫、日光彫、田植え・稲刈り、笹団子づくり、磯の生物観察、文化遺産見学、ハイキング等) (※施策1の再掲)【学務課】	905回	905回
青少年課の大学連携事業の全プログラムの提供数 【青少年課】	25回	33回
大学と連携した留学生交流学習の実施校数 【学力定着推進課】	6校	6校
あだち子ども百人一首大会の参加率 【青少年課】	99.1%	100%
職場体験を実施している中学校の割合 【教育指導課】	100%	100%
放課後子ども教室への学校担当職員巡回数(1校あたりの年間巡回数/週1回として42回) 【学校支援課】	49回	49回

戦略1 多様な体験活動の提供とその充実	活動指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
	青少年問題協議会の開催回数【青少年課】	2回	2回
	青少年委員としてブロックで行う活動の回数【青少年課】	139回	156回
	青少年対策地区委員会全体の主催事業数【青少年課】	123事業	130事業
	ジュニアリーダークラブ(中学生・高校生)の構成員数【青少年課】	30人	100人
	ジュニアリーダー研修会の参加者数【青少年課】	560人	650人
	子ども会育成者の研修会実施回数【青少年課】	22回	23回

戦略2 家庭教育支援の充実	成果指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
	早寝・早起き・朝ごはんカレンダーの取り組み園の保護者アンケートで、「早寝・早起き・朝ごはんをこころがけるようになった」と回答した方の割合(令和2年度より設問追加)【青少年課】	-	65%
	基本的な生活習慣が身についている小学1年生の割合(※施策2の再掲)【就学前教育推進課】	90.6%	90%
	家庭教育支援講座の受講者を対象としたアンケートにおいて、「今後に生かせると思う」に肯定的な回答をした割合(令和2年度より実施)【青少年課】	-	85%
	活動指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
	早寝・早起き・朝ごはんカレンダーに取り組む園の割合 *4・5歳児の在籍園に限る【青少年課】	73.1%	93.5%
	早寝・早起き・朝ごはんカレンダーに取り組む小学校の割合 *小学1年生を対象(令和2年度より実施)【青少年課】	-	100%
	保育者と小学校教員を対象とした接続期教育研修(幼保小連携研修)の実施回数【就学前教育推進課】	2回	2回
	「子育て仲間づくり活動」を実施した団体数【青少年課】	46団体	60団体
	家庭教育支援講座の実施数【青少年課】	15回 【延べ79人】	20回 【延べ120人】

戦略3 社会的自立に必要な力の育成・支援

成果指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
「足立区学力定着に関する総合調査」で「将来の夢や目標を持っている」に肯定的な回答をした割合 【教育指導課】	(小学生)86% (中学生)74.3%	(小学生)90% (中学生)80%
「全国学力・学習状況調査」で「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」に肯定的な回答をした割合 【教育指導課】	(小学6年生) 49.4% (中学3年生) 36.9%	(小学6年生) 60% (中学3年生) 50%

活動指標	基準年度 (平成30年度)	目標年度 (令和6年度)
キャリア教育支援事業の事業参加校の割合 ※平成30年度までは小学校のみが対象で、令和元年度以降は小・中学校が対象 【教育指導課】	91%	100%
夢デザインシートを活用している小・中学校の割合 【教育指導課】	100%	100%
職場体験を実施している中学校の割合 【教育指導課】	100%	100%
租税教室開催の小・中学校の割合 【教育指導課】	(小学校)100% (中学校)48.5%	(小学校)100% (中学校)60%
税についての作文に取り組んでいる中学校の割合 【教育指導課】	100%	100%
教員を対象にした消費者教育に関する研修会の実施回数 【教育指導課】	2回	2回
夏休み子どもエコプロジェクトに取り組んだ児童の割合 【環境政策課】	85%	88%

